

第31回景況調査結果

令和2年4月

大曲商工会議所中小企業相談所

1. 目的

大曲商工会議所地域内の商工業者の景況を把握し公表することにより、商工業者の事業推進に寄与するため実施した。

2. 景況判断指数（Diffusion Index 値）とは

景況判断指数はD I 値と表示され、求め方は、増加や好転と回答した事業所の割合から減少や悪化と回答した事業所の割合を差し引いた値で、プラスの時は好景気（景気拡大期）、マイナスの時は不景気（景気減速期）と判断される。

（計算例）

好転5社 変わらず3社 悪化2社 のD I 値は30ポイント

D I 値＝好転の割合（5社÷10社＝50％）－悪化の割合（2社÷10社＝20％）

D I 値＝50％－20％＝30（ポイント）

3. 調査対象期間

●前期の実績

前期（令和2年1月1日～令和2年3月31日）についての実績を
前年同期と比較（平成31年1月1日～平成31年3月31日）

●今期の見通し

今期（令和2年4月1日～令和2年6月30日）についての見通しを
前年同期と比較（平成31年4月1日～令和1年6月30日）

4. 回収状況

業種	対 象 事業所数	有 効 回 答 事業所数 (回収率)
建設業	32	26 (81%)
製造業	22	17 (77%)
卸売業	6	4 (66%)
小売業	80	56 (70%)
サービス業	60	39 (65%)
合計	200	142 (71%)

調査結果

()内は前回調査1月調査結果のDI値

①全業種

(単位: ポイント)

期間	景況	売上	在庫	利益	資金繰り	雇用
前期の実績 (前回調査)	△57.7 (△26.2)	△59.6 (△28.4)	△6.5 (△5.6)	△57.7 (△36.2)	△40.8 (△16.5)	△2.2 (21.9)
今期の見通し (前回調査)	△68.1 (△27.7)	△70.2 (△30.5)	2.6 (△7.1)	△71.4 (△40.0)	△50.4 (△21.6)	△12.5 (22.6)

業種別

業種	期間	景況	売上	在庫	利益	資金繰り	雇用
建設業	前期の実績 (前回調査)	△34.6 (0.0)	△38.5 (0.0)	—	△42.3 (0.0)	△15.4 (8.3)	11.5 (37.5)
	今期の見通し (前回調査)	△34.6 (△8.3)	△30.8 (△20.8)	—	△50.0 (△33.3)	△15.4 (△4.2)	19.2 (41.7)
製造業	前期の実績 (前回調査)	△64.7 (△25.0)	△58.8 (△25.0)	△37.5 (△11.1)	△52.9 (△41.7)	△47.1 (△16.7)	△6.3 (33.3)
	今期の見通し (前回調査)	△82.4 (△25.0)	△88.2 (△16.7)	△37.5 (△12.5)	△70.6 (△41.7)	△64.7 (△33.3)	△37.5 (16.7)
卸売業	前期の実績 (前回調査)	△50.0 (25.0)	△50.0 (25.0)	0.0 (25.0)	△50.0 (50.0)	0.0 (0.0)	25.0 (25.0)
	今期の見通し (前回調査)	△50.0 (25.0)	△50.0 (25.0)	0.0 (25.0)	△50.0 (50.0)	△50.0 (0.0)	△25.0 (0.0)
小売業	前期の実績 (前回調査)	△69.6 (△44.6)	△72.7 (△50.0)	1.9 (△11.3)	△69.6 (△57.1)	△48.2 (△25.5)	△1.9 (17.0)
	今期の見通し (前回調査)	△82.1 (△48.2)	△85.7 (△50.0)	12.7 (△11.5)	△82.1 (△58.2)	△57.1 (△27.3)	△14.8 (20.8)
サービス業	前期の実績 (前回調査)	△53.8 (△22.2)	△56.4 (△22.2)	—	△53.8 (△35.6)	△48.7 (△20.5)	△13.9 (15.9)
	今期の見通し (前回調査)	△65.8 (△17.8)	△68.4 (△20.0)	—	△73.0 (△28.9)	△57.9 (△22.7)	△19.4 (18.2)

(3) 自由表記

【建設業】

- ・土木部門堅調も建設部門は低調推移。建設部門の受注確保が課題である。
(総合建設業)
- ・今後コロナの影響がどの程度あるのか不足である。
(総合建設業)

【小売業】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で客先への訪問活動が非常に難しくなり、売上減少が顕著になると予想される。
(電気小売)
- ・今後、コロナが収束しなければどんどん悪くなっていく一方だ。
(一般小売)
- ・コロナウイルス次第です。
(酒類小売)
- ・暖冬に続き新型コロナウイルスの影響で今まで経験したことのない売上が続いている。
(衣料小売)
- ・消費減退に加え、今期暖冬の影響で著しく販売が落ち込んだ。さらにコロナウイルスの影響で前年比2割ほど落ち込んでいる。先行きが全く見えない。
(燃料小売)

【サービス業】

- ・ウイルスでこの状況ですが、また大曲の活気が戻ることを期待しています。
(飲食店)
- ・非常によくはない状況。今後はもっと悪化すると思う。
(飲食店)
- ・今回のコロナの影響で先の見通しが全く立たない。
(運搬業)
- ・2月末から今日迄前年比10%程度の売上です。給料などの固定費の支払いがあり、不安です。
(宿泊業)

【製造業】

- ・コロナウイルス対策で取引先も休みとなり受注キャンセルがあり、どのくらい落ち込むかわからない状態です。
(製造業)
- ・事業および雇用継続に困難極まる。
(製造業)

(4) 考 察

全国比較：日本商工会議所 LOBO 調査

県内比較：秋田県県内経済動向調査

参考比較：大曲商工会議所新型コロナウイルス事業影響調査

建設業

前回調査と比べると前期実績・今期見通しの全ての項目が下回っており、雇用以外の全ての項目がマイナスの結果となった。新型コロナウイルスの事業への影響調査時点（3月）では、影響がない、懸念しているなど直接的影響度合いが低かったが3月の後半から資材の納入遅れや工期の延長など直接的影響が出始め今後の予測は県内調査と同様に厳しいものとなった。また、全国調査では人手不足や賃金上昇による収益悪化の業者も増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により景況感はさらに悪化する可能性がある。

製造業

前回調査と比べると前期実績・今期見通しの全ての項目が下回っており、全ての項目がマイナスとなっている。景況D I 値が前期実績 $\Delta 64.7$ 今期見通し $\Delta 82.4$ と非常に厳しい状況である。全国調査及び当所調査でもイベント自粛による商談会等の中止や原材料の入手難などの声が多く聞かれた。特に海外取引のある事業者、原料調達を海外に頼る事業者は見通しの立たない状況にあり業況の回復には時間がかかりそうである。

卸売業

前回調査と比べると前期実績では、資金繰り・雇用を除く項目が下回っている。今期見通しでは全ての項目が下回っている。全国、県内、当所調査に共通し、建設資材関連業種の部材等の入手難や学校の休校や各種飲食店の休業により食品関連卸業者も大きな影響を受けている。

小売業

前回調査と比べると前期実績・今期見通しで在庫を除くすべての項目が下回っており、在庫以外はマイナス数値で推移しており景況D I 値が前期実績 $\Delta 69.6$ 今期見通し $\Delta 82.1$ と大変厳しい状況にある。食糧品や生活必需品の販売など一部は好調であるが、衣料品等は暖冬の影響で冬物の売れ行きが低調だったことに加え今回の新型コロナウイルスの影響を受け深刻な状況である。

サービス業

小売業同様、前期実績・今期見通しの全ての項目が前回調査を下回っており、全ての項目がマイナスである。外出自粛要請や県の休業要請などが大きく影響していると考えられ、特に飲食店は3月、4月が非常に落ち込んでいる。先行き不透明な状況が続くと思われる。全国、県内共通であるが飲食サービスを中心に売り上げがない日もあり影響の大きさがうかがえる。また、3月、4月の学校行事が自粛されたこともあり関連する事業者は大きな打撃をうけた。

・全業種の景況は、前回調査と比べて大きく下回っている。新型コロナウイルスの影響が広がっており、小売業・サービス業・製造業の落ち込みが激しい。卸売業・建設業も先行きは不透明である。新型コロナウイルスによる落ち込みはしばらく続くと思われる。